



470

OMU Sailing Team

THE OMU *Chronicle*

2024-25 vol.11
1 October, 2025

全日本個人戦レポート

全日本470レポート

新入生レガッタレポート

4回/荒木 4回/大島

「団体戦への意気込み」

1回/森田 1回/平岡

「1年生活動報告」



全日本個人戦結果



8/28-31に豊田自動車機 海陽ヨットハーバーにて開催されました、2025年度全日本学生ヨット個人選手権大会の最終成績を報告させていただきます。
以下、艇番号/セール番号、スキッパー/クルーの順で記載しております。
()は学年、《 》は除外されたレース得点です。

国際470級(全55艇、全8レース)

1位 早稲田大学

[3-3-4-1-《15》-6-6-4 27pt]

2位 早稲田大学

[2-2-《20》-4-5-2-3-9 27pt]

3位 日本大学

[11-6-5-2-6-3-1-《27》 34pt]

4位 日本大学

[1-1-6-5-《22》-1-18-7 39pt]

5位 日本大学

[《17》-12-3-9-14-5-4-12 59pt]

6位 慶應義塾大学

[16-4-《18》-14-3-9-14-8 68pt]

30位 4754/4754 井野(4)/荒木(4)

[34-52-《56(BFD)》-30-8-28-15-34 201pt]



3日間にわたり温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。

日頃よりご支援ご声援をくださる皆様への感謝を忘れずに、関西インカレに向け頑張って参りますので引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

写真提供:BULKHEAD magazine 様

全日本個人戦

470スキッパー 井野翔太

いつもお世話になっております。4回生470スキッパーの井野翔太です。8月最終週に愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバーにて開催されました全日本学生ヨット個人選手権大会についてご報告させていただきます。

今年の全日本個人戦は、3日間を通してトリッキーなコンディションばかりのレガッタとなりました。初めての海面、初めてのフリートのレベル、初めてのビッグフリートと、初めてづくしで最初は翻弄されましたが、非常に学びが多く、かつ楽しいレガッタとなりました。

自分の弱みと感じているスタートやタクティクス、混戦での戦い方は、やはり艇数が多く相手のレベルも高い中では問題点として顕著に表れました。特にスタートは以前から長らく課題として残り続けているため、取り組み方に変化を加え、一刻も早く得意分野にできるよう努めてまいりたいと思います。

関西インカレまで残りわずかとなり、これらの要素を実践的に練習できる機会はさらに少なくなります。全日本個人戦で実際に経験したケースを何一つ取りこぼすことなく、これからの糧にできるようチーム全員で成長してまいりたいと考えております。

また、OBOGの皆様のご支援・ご声援がなければ、このような貴重な体験をすることすらできませんでした。クルーの荒木とともに、心より感謝申し上げます。



全日本470結果



9/3-7に江ノ島にて開催されました、全日本470級ヨット選手権大会の最終成績を報告させていただきます。

以下、艇番号/セール番号、スキッパー/クルーの順で記載しております。

()は学年、《》は除外されたレース得点です。

総合成績（全95艇、全9レース）

1位 JPN22 Racing

[1-《49(BFD)》-2-1-3-1-2-1-1 12pt]

2位 Persson Marine Japan

[4-1-《49(BFD)》-1-16-1-1-2-4 30pt]

3位 日本大学

[1-2-4-4-1-4-13-《21》-8 37pt]

4位 滋賀セーリングチーム

[2-3-5-11-1-3-《15》-6-7 38pt]

5位 Yamaha Sailing Club Shingai

[8-5-7-6-2-5-6-《9》-5 44pt]

6位 早稲田セーリングチーム

[13-7-9-13-4-2-3-3-《16》 54pt]

7位 Malaysia Sailing Association

[6-6-3-《16》-5-2-16-15-2 55pt]

8位 日本経済大学

[5-1-8-11-13-5-《22》-8-6 57pt]

9位 日本大学

[8-9-1-16-3-7-9-5-《18》 58pt]

10位 Vis Corporation/東京大学セーリングチーム

[2-8-5-10-11-6-《49(BFD)》-19-3 64pt]

59位 (シルバーフリート11位)

4754/4754 井野(4)/荒木(4)

[30-28-24-17-(39)-30-16-25-17 187pt]

77位 (シルバーフリート29位)

4707/4344 なかよしセーリング 田口さん/村田さん

[27-《49(RET)》-28-49(UFD)-14-32-38-28-38 254pt]

81位 (シルバーフリート33位)

4599/4599 直田(4)/名定(3)

[43-《49(DNF)》-49(DNF)-32-45-39-11-32-29 280pt]



5日間にわたり多大なるご支援ご声援をいただき、誠にありがとうございました。大会期間中には、保護者の方やOGさんにも応援に駆けつけていただき、大変ありがたく存じます。

この遠征で得られたものを今後の練習に活かし、関西インカレで成果を発揮できるように努めてまいります。

引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

全日本470を終えて

3回生470クルー 名定 玖晃

いつもお世話になっております。3回生470クルーの名定玖晃です。9月3日から7日に江ノ島で行われた全日本470の報告をさせていただきます。

今年の全日本470は5日間を通して、10m/sを超える強風や1～2m/sの微風など様々なコンディションでのレースとなりました。全日本470に初めて出場して率直に感じたのは、インカレ常連校や社会人チームのレベルが自分たちよりも圧倒的に高いことでした。レベルが高く、順位は思ったようにはなりませんでした。スタートの技術やコース選択、リカバリーの仕方など学ぶことがとても多くありました。また、今回は初めての遠征ということもあり、積み込みの仕方や他水域で気をつけることなどヨットに乗ること以外でも勉強になることが多々ありました。今回の遠征では自分だけが3回生だったので来年以降の遠征では今回学んだことを活かしていきたいと思います。最後になりましたが、OBOGの方々の多大なご寄付により今回の遠征を行うことができました。心より感謝申し上げます。



団体戦への意気込み

前回に引き続き団体戦に向けての4回生の意気込みを掲載します。4年間の集大成である団体戦に向けて最後まで走り抜けますので、熱いご声援の程よろしくお願いいたします。

470 荒木 友陽

いつもお世話になっております。4回生470クルーの荒木友陽です。今年で3回目の関西インカレ出場となります。2年前は最下位という結果に絶望し、去年はあと一歩及ばず悔しい思いをしました。その経験を糧に、今年こそは必ず全日本に出場し、入賞を果たしたいと思います。私は3番艇のクルーとして出場します。自艇の成績がチームの結果に直結するため、普段の練習から常に高い意識を持ち、レースで前を走れるよう全力を尽くします。また、全日本個人戦や470選手権に出場した経験から多くのことを学びました。その学びをチームに還元し、チーム全体がレベルアップできるように努めます。今年こそは、これまでの悔しさを晴らし、チームの目標達成に貢献できるよう尽力します。

マネージャー 大島 優輝

お世話になっております。4回生マネージャーの大島優輝です。洋上にでると時折冷たい風が入り、団体戦が近づいていることをひしひし実感するようになってきました。最後の団体戦に向けて私が1番チームに貢献できることは、選手たちがやりたい練習をストレスなくスムーズにできるように、レスキューワークをこなし、良い練習を一緒に作り上げることです。夏合宿では、4年間でコーチ・先輩方に教えていただいた・見て学んだ知識を総動員し最大効率の練習運営を心掛けてきました。最上回生の役割は、これまでのコーチや先輩方が勝つために紡いできた想いに気づき、そこに自分たちの想いを載せて最大限にチームの力を発揮することだと思います。私もチームの勝ちに貢献し後輩に想いを紡げるよう、妥協せず、限界をつくらず、最後まで諦めずに走り抜けますので、これからもご指導・ご鞭撻・ご声援のほどよろしくお願いいたします！

新入生レガッタ結果

9/6-7に開催されました、2025年度 関西学生ヨット新入生レガッタの成績を報告させていただきます。

以下、艇番号/セール番号、ヘルムスマン(学年)/クルー(学年)のように記載しております。《》は除外されたレース得点です。

国際スナイプ級

全18艇、全7レース

17位 30653/31156 山口(2)/森田(1)

17-《19》-16-17-16-14-18 98pt

18位 29902/29003 古川(2)/小澤(1)富美本(1)

《19》-17-17-18-19-18-17 106pt



新入生レガッタ

スナイプクルー 山口航

お世話になっております。2回生スナイプクルーの山口航です。今回の新人戦では、普段とは異なりスキッパーとして出場し、1回生クルーとペアを組んでレースに挑みました。南風の軽風からオーバーコンディションまで幅広い風域の中、2日間で計7レースが行われました。初日はスタートすらもうまく切れず、帆走能力も未熟なため厳しい展開が続きましたが、レース当日レスキューに乗っていただいた上回生やペアと相談しながら改善を重ね、2日目には他艇と競る場面も増え、成長を実感できました。艇内では「2人で走り切る」ことを意識し、積極的に声をかけ合いながらレースに臨みました。レース後にクルーの1回生たちが「楽しかった」と言ってくれたことがとても嬉しかったです。スキッパーとしてはじめて主体的に考え、レースを組み立ていくことで、その難しさと楽しさを実感できた貴重な経験となりました。この学びを活かし、来たる関西インカレに向けてさらに成長していきたいと思います。





夏合宿の学び

1回生2人に夏合宿を振り返ってもらいました！

1回生 スナイプ級 森田陽希

いつもお世話になっております。
1回生スナイプの森田陽希です。
今回は夏合宿の学びについてお話しさせていただきます。

夏合宿ではヨットに乗る機会が増えたため、ヨットに対する愛が入部当初より大きくなってきているように感じます。ヨットに乗れば乗るほど改善点を発見でき、自分の成長を実感することができています。ヨットに対

するモチベーションが高まり、1年生オフにもほぼ参加するようになりました。そこで先輩に「1年生の元気が部の空気をよくしている」とおっしゃっていただき、自分が部に良い影響を与えられていることをとても光栄に感じています。

これからも上回生に劣らないモチベーションでヨットに取り組んでいきます。



1回生 470級 平岡信哉

いつもお世話になっております。
1回生470の平岡信哉です。
ここでは夏合宿での学びについての報告を行いたいと思います。ヨット部に入部して、はや4ヶ月が経過しました。夏合宿が始まるまでは、ロープワークや艀装、解装といったヨットの基礎知識を丘で学んだり、レスキューワークを手伝ったりしていました。しかし、夏合宿が始まるとよりフレッシュマンに出させてもらう機会が多くなり、自分の中では理解できていると思っ

ていたことが、実際にやってみるとできないことが多く見つかりました。そこでの疑問点や課題を丘に持ち帰って1回生同士で話し合ったり、先輩に積極的に質問したりすることで、徐々にヨットの扱いに慣れていっていると思います。まだまだ未熟なところがありますが、1回生一同、学んだことを糧にして着実にできることを増やしつつ、少しでもチームの力になれるよう精一杯頑張ります。



大阪公立大学体育会ヨット部広報誌
The OMU Chronicle 9月後半号

発 行 2025年9月17日

編集担当者 直田 鼓太郎

植村 真央

井野 翔太

河口 佐和

岩本 拓優

発 行 者 大阪公立大学体育会ヨット部
omuyacht2025@gmail.com
